

〔科目名〕 卒業研究	〔単位数〕 4単位	〔科目区分〕 卒業研究科目				
〔担当者〕 下村 育世		〔授業の方法〕 演習				
〔演習テーマ〕 近代とはいかなる時代か ——明治以降に変化したモノ・コトを歴史に着目しながら考える (3)各自好きなテーマで卒論を書きあげる編						
〔演習内容〕 歴史学的方法によるか、宗教にかかわるテーマを、学生が自らの関心に基づいて課題設定を行い、卒業論文を作成する。 春学期のうちに、論文の書き方について改めて学びなおします。信頼に足る情報資源の検索の仕方なども復習します(4～5月)。それらを踏まえて、各自のテーマに基づき先行研究を探し、卒業論文で明らかにしようとする問題設定を固めていく(6月。進捗状況の報告をしてください。共に練っていきます)。夏休みまでに一度、テーマ、問題設定、おおよその目次、全体の流れ、参考文献表を踏まえた中間報告をしてもらいます(7月。発表以降、改変をしても構いません)。 秋学期には、上記の報告と夏休みの研鑽を踏まえて、論文執筆の指導を行い、全体の構成と目次の構想を練りあげて、卒業論文を完成させる。 どうしてもテーマが見つからない場合には、教員が提供することも考えています。						
〔科目の到達目標〕 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館やデータベースを利用し、信頼に足る情報検索の方法を理解し、実践できる。 ・正しく引用することができる。 ・参考文献表を作ることができる。 ・他者の意見を理解した上で、自分の意見を述べることができる。 ・研究をするにあたっての一連の手続きを理解する。 ・正確な日本語による論理的な卒業論文を作成できる。 						
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕						
学 部				学 科		
DP1	DP2	DP3 ○	DP4 ○	DP1	DP2	DP3
〔前提条件〕 歴史や宗教に関心があること。 名著講読演習か教養演習を履修していることが望ましい。						
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 卒業論文の執筆をしますので、テストやレポート等は課しません。必要に応じて演習に出席すること、レジュメなどを作成し発表することが必須です。議論においては積極的な発言を期待します。						
〔教科書等〕 村上紀夫『歴史学で卒業論文を書くために』創元社、2019年。						
〔実務経歴〕						

授業スケジュール

時期	テーマと内容
春学期	テキストを輪読しながら、論文執筆にあたっての作法を身につけるとともに、論文執筆の構想を練る。
夏休み	先行研究の調査
秋学期	卒業論文執筆